

技術をプロデュースし、新しい世界を創る!

## 日本精密工業

OA情報機器・カメラ・ビデオカメラ等の開発設計生産

本社・工場/山梨県甲府市山宮町3167 電話 0552(52)7181(代)  
東京支店/東京都渋谷区代々木1-59 電話 03(374)7881(代)

発行所 東京本社=東京都千代田区大手町1-7-2 〒100 電話 03-231-7111  
日本工業新聞社 1987 大阪本社=大阪市北区梅田2-4-9 〒530 電話 06-343-1221

# プラズマディスプレイ

# 多色化に成功

富士通



山本 社長

富士通(社長・山本卓真氏)は、赤、青、緑の三色表示ができるマルチカラープラズマディスプレイの試作に成功した。プラズマディスプレイは、薄形平面型厚みをつないだ壁かけテレビの最有力候補と見られている。今回のディスプレイは、低電圧の交流で動作し、寿命、明るさも商用レベルに近い。中間調が出せないのではのままカラーテレビにもこのディスプレイではできないが、壁かけテレビの実現に向け大きく近づいたといえる。富士通では、この成果をもとにまず情報処理に使えるマルチカラープラズマディスプレイの商品化を急ぐ計画である。

## 壁かけテレビ 実現に近づく

### 寿命、明るさも十分 交流使い低電圧

プラズマディスプレイは、放電を利用して蛍光体を光らせる表示装置のこと。二枚の電極間で放電を起し、そのさい発生する紫外線を蛍光体にあてると発光するという仕組みで、赤みがかったオレンジ色のプラズマディスプレイは

すでにコンピュターの端末などに広く使われている。しかし、マルチカラー化は、寿命の問題、輝度(明るさ)の問題などがあって各社とも研究段階にある。

富士通は、「面放電形」と呼ぶ独自の放電方式を開発し、長寿命、高輝度で大型化も可能な赤、青、緑のマルチカラープラズマディスプレイを実現した。

### 直流式との競争が見もの

記者……壁かけカラーテレビは、電機メーカー各社が、ホストVTRの本命と位置づけている夢の大型商品だが、日立製作所以外はいっさい内容が明らかになっていない。今回の成果をもって壁かけカラーテレビに注力したと見るのは早計だが、家電メーカーの富士通は、これを下にもつ富士通がこれぞと発展させるかきわめて興味深い。

日立は、昨年、直流式の大型壁かけカラーテレビに注力したと発表したが、富士通の方式は交

きょうの紙面

電総研が超格  
ソニー、HD  
石川島輸送機

世界初!! 草刈  
アート

試作したディスプレイの蛍光面の大きさは約一四センチ×同五センチ。この大きさのなかに赤、青、緑の各蛍光体が点状(ドット状)に合計およそ二万九千個つづりこんでいる。ドット一個の直径は〇・六ミリ。現在のカラーテレビのように赤、青、緑のドットがそれぞれ隣り合わせになっていて、交流六〇ヘルツの電圧をかければ三つの色が自由自在に出せる。

ドット数が増えても輝度が低下しないので大型化にも十分対応できる。同社では、いっしょに

流式。直流式は、サイズが大きくなるにつれ画面が暗くなる位とこころをかかえているが交流式にはその心配がないだけに関係者に与えるインパクトは大きい。VTRで演じられてきた「VHS対ベータ」の向こうをはる「直流式対交流式」の開発競争に発展する可能性もでてきた。

(北村 文昭 科学技術室次長)